広報

皆さんと村を結ぶ架け橋

しむかっぷ

3
2023
No.783

TOPIC

- ▶アスペン中学生短期交換留学事業（派遣）報告
- ▶地域おこし協力隊活動報告
- ▶中学生および後期課程生のアンケート実施結果

自然体感占冠
Shimukappu/Hokkaido

アスペン中学生短期交換留学事業（派遣）参加報告

姉妹都市米国アスペン市との交流事業『アスペン中学生短期交換留学事業』が３年ぶりに再開。令和５年１月４日から15日までの12日間、村内の中学生と後期課程生をアスペン市に派遣しました。
現地での生活や人々との交流などを通して得られた「学び」は、生徒たちにとって一生の「財産」となったのではないでしょうか。

参加者：中学生・後期課程生９人、引率者２人

アスペンでの出来事

占冠中学校　石坂　佑都

私がアスペンに行って体験した出来事は、ホストファミリーがおもてなしをたくさんしてくれたことです。自由時間にはゲームに誘ってくれ、一緒に楽しく過ごすことができ、アスペンの街にも連れて行ってくれました。公園にはアスペンと占冠の交流の記録が記されていて、占冠の人間としてうれしく思いました。

次に体験したことは、日本ではなかなか食べられないものを食べることができたことです。私には肉厚のステーキや大きなロブスターなどを食べさせてくれました。アメリカのお肉は分厚くても柔らかく、旨味が非常に感じられました。他にもさまざまなアメリカの料理を振る舞ってもらい、日本とは違う食べ方や味付けに驚き、毎日食べることが楽しく感じました。

最後に体験したことは、文化の違いです。アメリカの小銭がよく分からなかったとき、優しくコインの種類を教えてくれ、お金を払いやすくしてくれました。他にも、アメリカの人たちは気さくでよく話しかけてくれるフレンドリーな人たちばかりでした。アメリカの人は会話をすることが好きで、たくさん話しかけてくれたので、退屈することなく毎日楽しく過ごすことができました。

アスペンはとても素晴らしいところなので、ぜひ皆さんにも行ってもらいたいです。

アスペンでの思い出

占冠中学校　石塚　葵

私のアスペンでの思い出は二つあります。

一つ目は、スキーです。私は元々スキーが得意ではなく、苦手でした。だからアスペンでスキーをすると聞きあまり乗り気ではありませんでした。最初は嫌々滑っていましたが、アスペンの方々が優しく教えてくれたり私たちが滑り降りるまで待っていてくれたりと、優しく接してくれたおかげで最後まで楽しく滑ることができました。

二つ目は、ショッピングです。初めての海外でのショッピングだったので、ちゃんと買い物ができるかとドキドキしていましたが、ホームステイ先の方が買い物の仕方やおすすめ商品を教えてくださり楽しく買い物をすることができました。私の行きたい場所、お店に連れて行ってくれてうれしかったです。私がアスペンに行って思ったことは、英語は単語だけでも伝わるということです。私は、英語が苦手でアスペンに行ってちゃんと会話できるのか不安に思っていました。けれど、意外にも単語だけでも相手の方が理解してくれたので会話が成り立ちました。海外で英語が伝わるか心配でも、単語を覚えていれば全然伝わるのでそんなに心配にはなりませんでした。アスペンでたくさんお世話になって心配事もなく楽しく過ごせたのはホームステイ先の方が配慮してくれたおかげです。また、アスペンに行ける機会があったら、もっと英語を完璧にして行きたいと思います。

アスペンでのひととき

占冠中学校　蠣崎　蒼空

自分は初日から波乱な出来事ばかりでした。空港での保安検査に引っ掛かり、トラウマになるほどの恐怖を味わいました。アスペンに着いてからはホストファミリーと再会することができ、とても楽しく、うれしかったです。家に着いてからの夕食はインディアンカレーを食べました。日本のお米との質の違いに驚きました。

お土産を買うために巨大なショッピングモールに行き、アメリカらしいチョコやステッカーを買いました。アスペンでの思い出の品を買えて良かったです。日本のショッピングモールよりも広く、品ぞろえも多かったです。

アスペンのスキー場はトマムとは比べものにならないほど広大でした。ただ、標高が高いため手足が冷たくなり、酸素が薄いため目まいがしました。ですが、それ以上に楽しむことができました。

休日にはコストコに行ったり、バスケの試合を見に行ったりで充実した時間を過ごせました。アスペンの人たちとたくさん触れ合うことができたと思います。

学校訪問では一緒に遊んだり、スキーのメンテナンスをしてもらったりと日本とは違う雰囲気の中で楽しみながら勉強してきました。他にもアメリカの先住民族の話を聞いたり、鉱山に行ったりもしました。

帰りの飛行機の中ではおいしい日本の機内食を食べることができ、一人で泣きそうになりました。

波乱なことや恥ずかしいこともありましたが、楽しい思い出や経験を積んで帰ってきました。今後の人生や出来事に生きると思います。そして、占冠村とアスペンの交流留学事業でもし何か関わる機会があるならばお手伝いしていきたいと思いました。

アスペンの思い出

占冠中学校　小瀬　綺乃

アスペンの思い出は、三つあります。

一つ目は、ホストファミリーとカーボンデールに行ったことです。最初に、お昼ごはんを食べに行き、飲食店でバニラシェイクを飲みました。甘くてとてもおいしかったです。次に、アスペン生のお母さんオススメの紅茶屋に行って、火薬という紅茶を飲みました。その後に４家族でボウリングをしました。

二つ目は、ホストファミリーとスノーマスでごはんを食べたことです。スノーマスまで、雪上車に乗せてもらい、山の頂上近くまで行きました。見晴らしが良く景色がとても素敵でした。スノーマスでチーズフォンデュと、ホットチョコレートを食べました。ホットチョコレートは甘くて、温まりました。

三つ目は、１月９日にスノーマス議会に行かせてもらったことです。議会では、交流事業について感謝の気持ちを議員の皆さんへ伝えました。議会で中学生の代表としてスピーチをさせてもらえたことはとても貴重な体験でした。

アスペンでの思い出

占冠中学校　佐々木　琉翔

はじめに、今回自分にこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございます。私は初めての海外だったので不安なことがたくさんありましたが楽しむことができました。ここでは私が実際にアスペンに行って見て驚いたことなどを紹介します。

まずは食文化です。私もアメリカ人の食事量は多いことは知っているつもりでした。しかし実際は自分の知識は違いました。アメリカ人は朝からたくさん食べると思っていましたが朝ごはんは少なめでした。なぜならアメリカ人は学校などに行くのにバスを使うのでバスの中で食べることができるからです。アメリカの通学は日本と違い特に規制がなくバスの中で飲食をしたりゲームをしたりすることが普通でした。朝ごはんは少なめでしたが昼ごはん、夜ごはんは多かったです。さらに日中は常にお菓子などを口にしていました。日本ではとても考えられないことです。

次にスキーについてです。アスペンの人は休日にスキーに行くことがとても多いそうです。自分のホストファミリーは冬の間、ほぼ毎週スキーに行くと言っていました。スキー場はコースの数がとても多かったです。トマムリゾートとは大きな違いがありました。コースは初心者用から上級者用まで細かく分けられていてゴンドラも2機あり、スケールの大きさに驚きました。スキー場の敷地内にレストランやスケートリンクなどさまざまな施設があり、1日中いても飽きることがないように過ごせる工夫が施されていました。

ここで紹介した食文化とスキー以外についてもたくさんのことを学ぶことができました。今回自分にこのような機会を与えていただき本当にありがとうございました。

もみんな陰性でひとまず安心しました。ですが、お母さんがコロナになった以上その家には入れないので、週末は別の家族の家に滞在する準備をしました。ごめんね、大丈夫?と心配され、大丈夫とは言ったものの、多少の不安や、無事に帰ることができるかなど、考えると怖かったです。

別の家族の家では、パズルをしたり、映画を見たり、日本食を出してくれたり、安心できるような工夫をしてくれました。その後もスキーに連れて行ってくれたり、買い物をしたりと、充実した時間を過ごせました。とても温かい気遣いに感動しました。

最初は不安しかなくて12日間なんて長すぎると思っていましたが、実際行ってみると一日一日があっという間でした。どんどん生活が楽しくなっていき、コミュニケーションもたくさん取れるようになって、たくさんの人と仲良くなりました。

アスペン

占冠中学校　千葉　朗磨

私は最初はアスペンに行くのが不安でした。なぜなら、私はあまり英語が話せなくて自分の感情を相手に伝えることができるか、ホストファミリーを困らせないかが不安だったからです。ですが、単語を言うだけで理解してくれたり、翻訳アプリを貸してくれたりしました。そのおかげでたくさん会話ができてとても助かりました。

私にとってアスペンで楽しかったことは、スキーと土日の思い出と学校訪問です。私はあまりスキーが好きではありませんでしたが、そんな私でもとても楽しむことができました。アスペンのスキー場はとても広くたくさんのコースがありました。スキーをしているときに3回ほどコケました。スキーが終わった後はゲームセンターで遊びました。そこには卓球やミニサッカーゲームなどがありました。その後スケートをしました。私は人生で初めてスケートをしてとても楽しかったです。

土曜日にはアスペンの山をゴンドラで登りました。そこから見える景色はとても美しかったです。その後ボウリングをしました。次に日曜日のことです。日曜日はアスペンのショッピングモールに行きました。そこで私は家族へのお土産と自分が欲しいものを買いました。いい買い物ができました。

学校訪問について、アスペンの学校は小学校に入る前の子から高校生までが通っていたり、日本の学校と違うところがたくさんあったりして驚きました。私が特に驚いたのは給食をどこで食べても良いというところです。私はアスペンに行けて良かったです。

アスペンを振り返って

占冠中学校　森田　真央

私は、今回の短期留学で、さまざまな貴重な経験をしてきました。正直、アスペンに行くことになったと報告を受けたとき、うれしさよりも不安の方が大きくて行く気になれませんでした。コミュニケーションがしっかりできるかという不安を抱えながら、長いフライトを終えアスペンに着き緊張しながら空港の中に入ると、アスペン生とその家族が温かく迎え入れてくれました。緊張が少し和らいだ気がしました。滞在先では、お母さんたちから話しかけてくれて、生活に慣れていきました。金曜日、スキー体験をして家に帰ろうとしたとき引率者のコーリーさんから連絡が入りました。滞在先のお母さんがコロナになったという報告でした。すぐに検査をしました。結果は陰性。他の家族

姉妹都市「Aspen」に滞在して

トマム学校　下川　冬翔

今回の短期交換留学事業に参加するに当たって、英語しか通じないことや、普段とは違う気候や標高で病気にかかることに対して不安を感じ、飛行機の中などで「行きたくないな」と思うこともありました。ですが、実際行ってみると現地の人やホストファミリー、前に日本に来た人たちが、できるだけ簡単な英語で話してくれたり、積極的に翻訳機を使ってくれたりして、みんなの温かさを感じました。最終的に、帰ってきたときに「彼らにまた会いたいな」と思うようになりました。これからも定期的にアスペンの人たちと連絡を取り合っていこうと思います。

また、私は市に用意してもらったプログラムや休日の自由行動の中で、たくさんの「初めて」を経験しました。例えば、Aspen Middle Schoolに併設されたレクセンターでやったビリヤードです。私はルールもほぼ知らず、須藤教頭先生に教えてもらいながらアスペン生と遊びました。思い通りにうまくプレイできませんでしたが、楽しく遊ぶことができました。

ゲームなどの文化では、日本ではあまり知られていないサイコロなどを使った時間のかからない簡単なゲームがたくさんありました。他にも日本よりも家族や先生とボードゲームをする文化が強く根付いているようでした。スポーツの面では、NBAの本場であることもあり、バスケットボールが人気のようでした。私も何度かバスケットボールの試合を見せてもらいましたが、会場の熱気がすごく、試合を見てる人たちが一体化しているような感覚でした。

最後に、今回のアスペン短期交換留学事業に参加でき、大変貴重な体験ができる村に住んでいるのだなということを再度強く実感しました。事業の計画や現地との打ち合わせ、飛行機の手配などの準備してくださった実行委員会の皆さん、我々のサポートをしていただいた皆さん。大変ありがとうございました。この場をお借りしてお伝えさせていただきます。

アスペンへの思い

トマム学校　藤本このはな

私がアスペンで生活を送る際に大切にしていたことは「コミュニケーション」でした。アスペンで過ごしている間、とにかくたくさん会話やコミュニケーションをすることを目標にしていました。自分の頭で組み立てた自分の英語が、現地で相手に伝わったあのときの感動が忘れられません。コミュニケーションに重きを置いて、自分が持っている力の全てをコミュニケーション能力に注いだ結果、私には老若男女古今東西のいろんな友達ができました。3歳になった男の子とスキーをしたり、ネイティブアメリカンの男性に絵を描いて贈ったり、イタリア人のおじさんとダンスをしたり。とにかく楽しい思い出や経験がたくさんできました。

トマムに引っ越してきてから今までの4年間、私はずっとアスペンに行くことを夢見ていました。新型コロナウイルスの流行により、私が行く予定だった令和4年度の姉妹都市交流はビデオ通話という形で行われました。夏休み中に、家でビデオ通話をしながら一緒にパンケーキを作ったのは良い思い出です。ですが、その反面「もっと会話がしたい」「どうしても自分の足でアスペンの空気を感じたい」「もし来年も行けなかったら」「そもそも来年9年生になる私は参加できるのか？」など、さまざまな思いが私の中にありました。

そんな私の背中を押してくれたのは、私のことを3年間見てくださり、私にたくさん英語を教えてくださった英語兼担任の先生の言葉でした。令和元年度にアスペンに行った彼は私に、「アスペンに行きたい思いがあるなら、ぜひこのはなにはアスペンでの生活を体験してきてほしい。受験を気にして行かないまま後悔だけはしてほしくない」と熱い言葉を掛けてくださり、私の中で、「自分はアスペンに行くべきなんだ」とアスペンへの思いを再確認することができました。

この度、中学2年生と8年生の生徒が対象であるところに、9年生である私を受け入れてくださった姉妹都市交流実行委員会の皆さまには感謝してもしきれません。私にこのような最高の経験をさせてくださり、本当にありがとうございました。これからも、もっと勉強を重ねて、もっと英語スキルを上げて、いつか必ずまたアスペンに行きたいです。

中学生短期交換留学事業に参加して

占冠中学校　山上　恵理

海外旅行の経験がなく、初めて日本を出ることになったため、英語でコミュニケーションを取れるのか、入国審査を通過することができるのか、ドルで買い物ができるのか、長時間のフライトに耐えられるのかなど、生徒と同じようにたくさんの不安を抱えて出発しました。

学校訪問やスキー、鉱山ツアー、ＡＣＥＳツアーなど、さまざまな体験をさせていただきましたが、その中でも特に印象的だったことの一つが、アスペンの先住民族であるユート族の方のお話です。

「違いは美しい」という言葉が心に残っています。

アスペンのこと、アメリカのことを知ると同時に、日本の良さも実感しました。また、学校を離れ、長い時間一緒にいてさまざまな経験を共にし、私が担任している7人の生徒の皆さんの新たな良さをたくさん知ることができました。

一緒に引率をしてくださったコーリーさん、ティンバーさん、須藤教頭、温かく受け入れをしてくださったホストファミリーの皆さん、関わってくださったアスペンの皆さん、占冠中学校の教職員の皆さん、そして一緒に多くの経験をしてくれた生徒の皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

刺激的な12日間

トマム学校　須藤　和宏

今回の姉妹都市交流事業に引率の立場として参加させていただき、9人の生徒たちが異国の地で戸惑いながらも、日々適応していく姿にたくましさを感じました。自分自身もかけがえのない貴重な体験をさせていただいたことに対して改めて感謝しています。

刺激的な12日間でした。アスペン市はアメリカコロラド州の3000ｍ級の山々が取り囲む雄大な自然の中にありました。リゾート地としての素敵な街並みやスキー場の規模には圧倒されました。三つの学校訪問を通して、日本とアメリカの教育の方針の違いや両国のそれぞれの良さも感じ取ることができました。

そして何より、アスペンの方々との心温まる交流がとても印象的でした。地方紙に我々の訪問について紹介され、町全体で歓迎されていると感じました。個人的には、人生で初めての12日間のホームステイ体験で、ホストファミリーのJanさんとPeterさん、夏にトマムに滞在されたJolainさんとJaisonさん家族には言葉では言い表せないほど大変お世話になりました。アスペンの人たちの温かい気持ちの一端に触れることができたエピソードもありました。ハイスクールのバスケットボールの試合を見学する機会があり、試合の趣旨を聞くと、出場選手の一人の高校生のご両親が昨年交通事故で亡くなり、この生徒へのチャリティーのために開催されたということでした。この話を聞いて胸が熱くなりました。

アスペンの歴史も興味深いものがありました。先住民族ユート族の夏のキャンプ地から19世紀後期に全米最大の「銀鉱山の町」へ。そして戦後に現在のスキーリゾートの地へ。きっかけが1946年のAspen skiing corporationの創設であり、この創始者が、ホストファミリーのPeter Pfeiferさんのお父さんのfried pfeiferさんであることを教えてもらいました。スキー場には彼の業績をたたえる銅像も建っています。現在のアスペンに貢献をされた方とつながりのあるホストファミリーにお世話になったことも大変光栄でした。

異国の地で、言語は違えど思いがあれば気持ちは十分に通じると実感できたことと、人の温かさを感じることができました。

9人の皆さんの留学体験は一生の財産です。皆さんには、ぜひこの体験を糧にして、新しいことに挑戦する気持ちを持ち続けてもらいたいです。さらに、グローバルな視点で世界全体のことも考えて行動できる人として将来活躍されることを期待しています。

今後も、この占冠村とアスペン市との姉妹都市交流事業がより発展的に継続されることを願っております。そして、今回の事業に関わりお世話になった多くの皆さまに感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

2023年1月10日 トーレ・アスペン市長訪問

アスペン中学生短期交換留学の期間中、田中村長と役場企画商工課職員２人もアスペン市へ渡航し、これまでの交流事業で積み重ねた友好関係に感謝を伝え、今後も発展的な交流を続けられるようアスペン市長、アスペン市議会、スノーマス議会、姉妹都市委員会などを訪問しました。

トーレ・アスペン市長からは、占冠村は重要なパートナーであるとのお言葉を頂き、アスペン市議会では、在デンバー領事館の畦地首席領事立ち会いの下、2023年１月10日を「占冠の日」とする宣言が読み上げられ、田中村長へ公式文書が手渡されました。

地域おこし協力隊 活動報告

林業

極寒の森が生み出すやさしい甘さ
占冠村のメープルシロップを全国へ――

令和2年12月に地域おこし協力隊として着任した田中です。村の特産品であるメープルシロップ「トペニワッカ」の製造補助や販売促進などを主に担当し、樹液の採取や製造工程の見直し、また、ふるさと納税の返礼品としても取り扱っているため、寄付件数を増やすためのPR活動等にも力を入れてきました。そのかいもあって、今年度は前年度比1.5倍と過去2番目に多い生産量となり、ふるさと納税の寄付件数も前年度比4倍と過去最高となりました。来年度分に関しても、昨年12月から先行予約を開始していることもあり、寄付件数は今年度分を上回るペースで推移しています。

近年は地域おこし事業としてメープルシロップの製造に取り組む自治体も増えてきており、北は北海道から南は宮崎県までと全国的な広がりを見せています。占冠村は全国的にも比較的早くにメープルシロップ事業に取り組んでいることから、国産のメープルシロップ事業を牽引してきた自治体の一つだと考えています。今後も参加自治体が増えてくることが予想される中で、どのようにして他との差別化を図り展開していくかを模索していく必要があると感じています。加えて、メープルシロップが持つ文化的意義を高めていく必要性も感じています。多くの方に占冠村の豊富な天然資源や地域文化に触れていただくための入り口としてメープルシロップを活用し、この村のメープルシロップ事業が「特産品」としてだけでなく「地域おこし」の一つとなるよう尽力していきたいと思います。

昨年はコロナ禍で中止となっていたツアー事業も試験的に再開しました。本年もツアー事業を含め、村内外のさまざまな方がメープルシロップと関われるような機会を提供できるように活動していきたいと考えています。協力隊としての任期も残すところ1年と限られていますが、これからもよろしくお願いします。

～トペニワッカの秘密～

占冠村のメープルシロップは採取したカエデ樹液の管理と丁寧な煮詰めが生み出すコクが特徴。決まった量の樹液を大きな鍋で時間をかけて煮詰めていくという伝統的な方法で製造しています。素材がシンプルだからこそ、どのように管理し、製造するかがシロップの出来に大きく関わってきます。

田中（たなか）　慧（けい）　隊員
所属：農林課林業振興室

保育

豊かな自然、かわいい子どもたちに囲まれて、毎日が充実しています

昨年の4月から地域おこし協力隊として占冠保育所で勤務している尾江です。占冠村に来て約1年が経ちました。春夏秋冬、どんな季節も素晴らしい占冠。野ウサギや野鳥を間近で見られるなど、豊かな自然や移りゆく季節を肌で感じながら、毎日楽しく元気に過ごしています。

保育所では、子どもたちと一緒にさまざまな経験をさせてもらっています。日々成長していく子どもたちのたくましさやかわいらしい姿に癒されている毎日です。

昨年11月に保育所で「なおみちカフェ」が開催され、占冠での生活や保育のことなどについて鈴木直道知事と直接お話しする機会があり、とても貴重な経験となりました。また、12月には地域おこし協力隊のサポートセミナーに参加しました。隊員同士での情報交換や地域の活動などについていろいろと知ることができ、とても学びのある研修だったと感じています。これからも日々の学びを大切にして、占冠での保育に生かせるよう皆さんと協力しながら楽しく活動していきたいと思います。

尾江（おえ）　理美（まさみ）　隊員
所属：福祉子育て支援課
子育て支援室

毎日が驚きと発見の連続――パワフルな子どもたちから笑顔と元気をもらっています！

昨年5月に東京から地域おこし協力隊として着任し、占冠保育所で働いている大岩です。都会を離れ、家から山が見える環境で暮らせることに喜びを感じながら過ごせたこの1年。四季の移り変わりを身近に感じ、以前より穏やかな気持ちで生活できています。夜に星を見られることが新鮮で、空を眺めながら帰宅することが晴れた日の楽しみになっています。

保育所では1月から外遊びができるようになりました。私自身、ふかふかの雪に触れる経験が少なかったので、童心に帰って全力で雪遊びを楽しむ毎日です。また、日々の生活や行事を通して子どもたちのユニークな発想に驚かされたり、元気いっぱいな笑顔にパワーをもらったりしています。少しずつ友だちを思いやる姿が見られたり、身の回りのことを丁寧に取り組んだりと、子どもたちの成長していく姿を保護者の方と一緒に見守ることができてうれしく思います。占冠の自然を生かした活動や異年齢ならではの遊びを取り入れながら、これからも職員の方と協力して楽しく保育を行っていきたいと思います。

大岩（おおいわ）　未希（みき）　隊員
所属：福祉子育て支援課
子育て支援室

年金のお知らせ

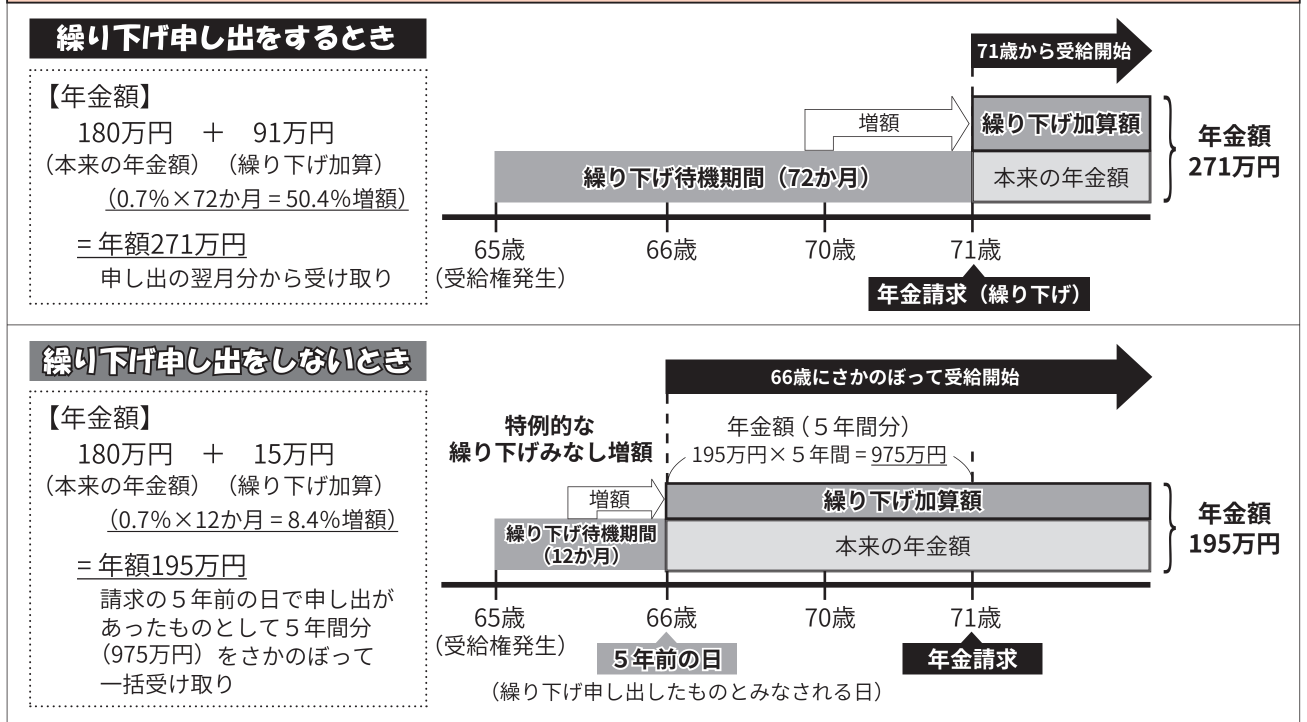
老齢年金の特例的な繰下げみなし増額制度が開始されます

令和４年４月から老齢年金の繰り下げ受給の上限年齢が70歳から75歳に引き上げられ、年金の受給開始時期を75歳まで自由に選択できるようになりました。

これを踏まえ、令和５年４月から70歳以降も安心して繰り下げ待機を選択できるよう制度改正が行われ、70歳到達後に繰り下げ申し出をせず、さかのぼって年金を受け取ることを選択した場合でも、請求の５年前の日に繰り下げ申し出をしたものとみなし、増額された年金の５年間分を一括して受け取ることができるようになります（特例的な繰下げみなし増額制度）。

◆ 改正後（令和５年４月から）

【例：71歳まで繰り下げ待機し、71歳時点で年金の請求をする場合（本来の年金額：年額180万円）】



対象者

＊次のいずれかに該当する方が制度の対象です＊

１．昭和27年４月２日以降生まれの方（令和５年３月31日時点で71歳未満の方）
２．老齢基礎・老齢厚生年金の受給権を取得した日が平成29年４月１日以降の方（令和５年３月31日時点で、老齢基礎・老齢厚生年金の受給権を取得した日から起算して６年を経過していない方）

※80歳以降に請求する場合や、請求の５年前の日以前から障害年金や遺族年金を受け取る権利がある場合は、特例的な繰下げみなし増額制度は適用されません。
※65歳以降に厚生年金保険に加入していた期間がある場合や、70歳以降に厚生年金保険の適用事業所に勤務していた期間がある場合に、在職老齢年金制度により支給停止される額は、増額の対象になりません。
※過去分の年金を一括して受給することにより、過去にさかのぼって医療保険・介護保険の自己負担や保険料、税金等に影響する場合がありますのでご注意ください。

手続き等

特例的な繰下げみなし増額制度の手続きは、令和５年４月１日から可能となります。制度を利用した場合の年金見込み額に関する相談は、旭川年金事務所（☎0166-25-5606）にご連絡ください。

問　住民課戸籍担当　☎　56 - 2123

中学生および後期課程生アンケートの実施結果

令和２年３月に策定した「第２期占冠村まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「中学生の占冠村への愛着度（令和６年度）を4.6点（５点満点）以上とする」ことを数値目標として設定しております。

現時点での地域愛の把握とともに、今後の施策の推進に当たっての具体的な希望などを把握するため、昨年度に引き続き、アンケートを実施しました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の地方創生の取り組みに反映していきたいと考えておりますので、今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

【結果の概要】（回答者２５人、回答率１００%）

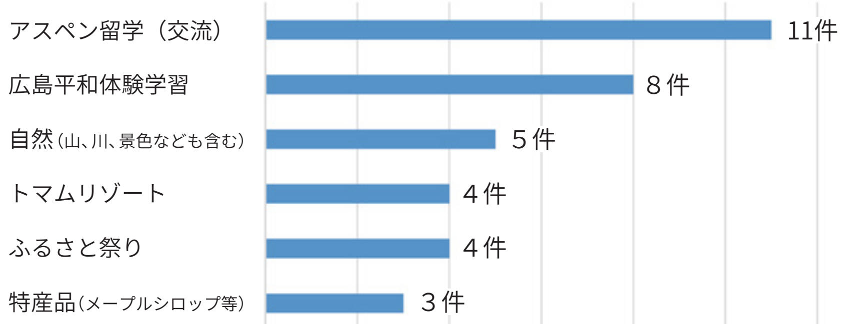
１。占冠村への思いについて

占冠村への愛着度は4.2点であり、目標値の4.6点からやや下回っています。

項目	点数	項目	点数
①山や川などの自然環境	4.7点	②治安がよく、安心して暮らせる	4.8点
③通学路などの道路の安全や通行のしやすさ	3.5点	④電車・バス・道路などの村外との交通の便	3.6点
⑤日常の買い物	3.3点	⑥学習環境	4.2点
⑦スポーツ活動	3.9点	⑧放課後の過ごし方	4.0点
⑨国際交流	4.6点	⑩地域の人たちとのつながり	4.6点
⑪イベント、伝統文化	4.4点	⑫暮らしやすさ	4.4点
⑬占冠村への愛着度	**4.2点**		

２。占冠村の魅力について

回答総数50件（１人２つ回答）※上位６位までを抜粋



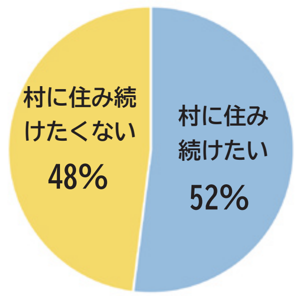
３。地域の人との関わりについて

地域の人があいさつをしてくれたり、優しく話しかけてくれたりすることがうれしいといった回答が大半を占めていました。

４。占冠村に住み続けたいか、住み続けたくないかについて

○住み続けたい（戻ってきたい）理由
人が少なくて治安がいい。自然と触れ合える。星空や景色がとてもきれい。
村に愛着がある。地域の人がやさしくて頼りやすい。
村外で生活してみたい気持ちはあるが、将来は占冠村に戻ってきたい。

○住み続けたくない（戻ってきたくない）理由
めざしている職業がある。働きたい職場がない。
出会いが少ない。都会暮らしを経験してみたい。
買い物するところが少なく、欲しいものがすぐに買えない。



５。占冠村を住みよい村にするためには？

○役場にしてほしいこと（主な意見抜粋）
スポーツセンターのような施設があるといい。体育館を自由に使いたい。
バスなどの交通の便が増えるといい。
きちんとした除雪をするなど、通学路の安全性を高めてほしい。

問　企画商工課地域振興対策室　☎　56 - 2124

2/3 金

保育所で節分の豆まき会

おには〜そとっ！ふくは〜うちっ!!

占冠・トマム両保育所で節分の豆まき会が行われました。紙芝居やゲームを楽しんでいる最中に鬼が登場し、「悪い子はいないか〜」と声を上げながら追いかけ回してくる鬼に対して、泣きながら逃げる子、先生に抱き着いて離れない子、豆を投げながら勇敢に立ち向かう子など反応はさまざま。最後は無事に鬼と仲直りできたようでした。

2/11 土

第6回ヒグマミーティング

ヒグマに強い地域づくりをめざして

占冠村総合センターにおいて地域のヒグマに関する学習会「ヒグマミーティング」が開催され、50人を超える来場がありました。会場では、村担当者による近況報告や酪農学園大学による研究の進捗状況について発表があり、参加者との活発な意見交流が行われました。また、ヒグマの文献や標本、ゲームなどが楽しめる「ひぐまひろば」も賑わいを見せていました。

2/11 土

ラッチャコナイト2023

占冠の夜を彩る灯火

占冠・村づくり観光協会主催の「ラッチャコナイト」が道の駅で開催され、約500個のアイスキャンドルとイルミネーションが占冠の夜を幻想的に彩りました。会場には3年ぶりに屋台が並び、アイスキャンドル・フォトコンテストも行われ、多くの親子連れなどで賑わいました。最後には約200発の花火が至近距離で打ち上がり、皆さん見入っている様子でした。

2/19 日

消防水利・高齢者住宅を除雪

積雪によるトラブル防止のために

消防団の訓練の一環として、占冠消防団第2分団員12人がトマム地区内の消防水利（消火栓・防火水槽）計13カ所と高齢者住宅8戸の暖房器具給排気口周辺の除雪を行いました。積雪で排気口が埋もれてしまうと、暖房器具の不完全燃焼により一酸化炭素中毒を引き起こす可能性がありますので、皆さんも定期的な確認や除雪を心掛けましょう。

2/16 木

トマム学校で発表会を開催

日ごろの学習の成果を皆さんの前で

トマム学校でチャレンジ発表会・学習発表会を開催。児童生徒が全員一丸となって縄跳びや一輪車、ダンスを披露したほか、総合学習などの授業で学んだ「郷土占冠」や「ごみの問題」などについて保護者や地域の皆さんの前で発表しました。異年齢での活発な交流はトマム学校ならでは。児童生徒が互いに協力し合う姿に参観者から温かい拍手が送られました。

生涯学習の窓

教育・文化・スポーツのホットな情報をお届けします

問　教育委員会社会教育担当　☎　56－2183

占冠村清流大学生募集のお知らせ

占冠村清流大学では、令和５年度の新入学生を募集しています。

入学を希望される方は、４月６日（木）までに社会教育担当へお申し込みください。

社会見学や修学旅行、村内小中学校との交流など楽しい学習活動を行っています。楽しく学び、交流を深める場として気軽に参加していただければ幸いです。

入学資格　満60歳以上の村民の方

授業内容

1　**一般教養に関すること**（食育講座、古典講座、消防講座等）

2　**運動や健康に関すること**（体力測定、健康体操、脳トレ等）

3　**課外活動**（社会見学、修学旅行、クラブ活動等）

※授業内容は予告なく変更になる場合があります。

授業回数　月１回～２回（夏期１回・冬期２回）

学習時間　午前10時から午後２時まで　（通学は自己手段）

学習場所　占冠村コミュニティプラザ　他

在学期間　大　学　４年制　大学院　２年制

研究生　希望する期間

経　　費　傷害保険料年間1,200円、または1,850円

（年齢によって異なります）

自治会費、若干の教材費（必要に応じて）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、上記の内容が変更になる場合があります。

占冠村立学校体育施設の開放事業について

令和５年度における学校開放利用団体を募集します。

1　**対象団体**　10人以上の団体、またはグループ

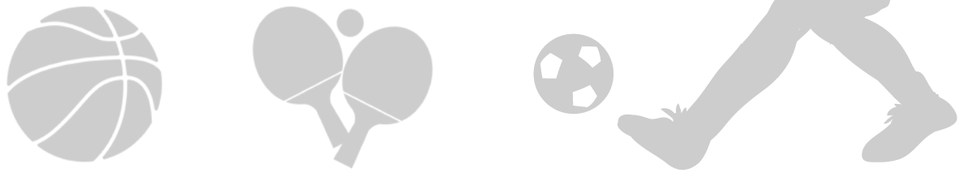
※未成年者の団体やグループについては、監督者として成人者が含まれている場合に限り対象とします。

2　**開放施設**　①占冠中央小学校　②占冠中学校　③占冠地域交流館　④トマム学校

3　**開放時間**　午後７時から午後９時まで

4　**申込期限**　３月24日（金）までに、社会教育担当へお申し込みください。

利用団体会議を４月に予定しています。後日、申込団体へ個別に通知します。



こんにちは 保健師です

問　住民課保健予防担当　☎　56－2122

多剤・重複服薬を見直しましょう ～ポリファーマシーにご注意を～

複数の病気にかかり、複数の医療機関を受診すると、処方される薬の数が増えてしまい、たくさんの薬を服用することになります。また、一つの病気でも、複数の医療機関を受診すれば、それぞれで同じ効能の薬を処方される可能性もあります。この機会に一度ご自身の服薬について見直してみませんか？

もしかして多剤・重複服薬かも？

次の項目に該当する場合は多剤・重複服薬かもしれません。薬は効き目が強いため、重複することで逆に体の不調を招くこともあります。いま一度ご確認ください。

①複数の医療機関で薬を処方されている
②お薬手帳を複数持っている
③かかりつけ医、かかりつけ薬局（薬剤師）を持っていない
④薬が多すぎて、飲むのがつらい
⑤処方された通りに服用しているのに体調が悪い（ふらつき、目まい、眠気、便秘等）

多剤・重複服薬を防ぐために

①かかりつけ医・かかりつけ薬局を持ちましょう。また、薬の飲み合わせや重複処方となっていないか聞いてみましょう。
②同じ病気での重複受診はやめましょう。同じ病気で複数の医療機関を受診すると、医療費や薬代が余計にかかります。別の医療機関を受診する前に、まずはかかりつけ医に相談してください。
③むやみに薬を欲しがらないようにしましょう。薬の数や種類が増えると副作用のリスクが高まるため、できる限り増やさないことが望ましいです。
④処方された薬を確認しましょう。薬局で渡される処方薬の説明書をよく読み、なぜ必要なのか、どんな作用があるかなど確認してください。
⑤お薬手帳を１冊にまとめましょう。何冊もあると情報が分散し、医師や薬剤師に正しく伝わらない場合があります。

【注意】

処方された薬を急にやめるのは体に負担をかけることにもなりかねません。自己判断での中断はせず、薬が重複しているかどうかをかかりつけの薬局に相談しましょう。

ポリファーマシーとは？

ポリファーマシーとは、単に服用する薬が多いということではなく、多くの薬を服用していることが原因で副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態のことをいいます。

高齢者は、服用している薬が６種類以上になると、副作用のリスクが高くなるといわれているため、注意が必要です。

３月は「自殺対策強化月間」です

厚生労働省では、例年、月別自殺者数の最も多い３月を「自殺対策強化月間」として、さまざまな相談事業や啓発活動を行っています。

また、近年は小中高生の自殺者数が増加傾向にあることから、子どもや若者向けに相談窓口や自殺防止に関する情報を分かりやすくまとめたウェブサイト「まもろうよこころ」を公開しています。

もしも悩みや不安を抱えて困っているときには、気軽に相談できる場所があります。電話やSNS、チャットなど、悩みや年代によって相談方法もいろいろなものがありますので、ご活用ください。

【相談窓口はこちら】

まもろうよこころ　検索

自殺対策強化月間に合わせて、占冠村コミュニティプラザ図書コーナーにて関連図書を展示しています。ぜひご覧ください。

外務省からのお知らせ 旅券（パスポート）の電子申請開始

令和５年３月27日（月）から、旅券（パスポート）の発給申請手続きが一部オンライン化されます。

利用可能なパターン

①パスポートの残存有効期間が１年未満となった場合
②査証欄の余白が見開き３ページ以下になった場合

ご注意ください！

①初めて申請する場合、お手持ちのパスポートが既に失効している場合、戸籍上の氏名や本籍地に変更があった場合などはオンライン申請の対象外です。
②オンライン申請には、マイナポータルを利用しますのでマイナンバーカードが必要です。
③当面の間、オンライン申請を行うことが可能な窓口はパスポートセンターおよび各総合振興局のみとなり、マイナポータルを通じて選択した受取窓口での交付となります。
④役場総務課総務担当の窓口で申請手続きを行う場合は、これまでと同様に紙の申請書による申請となります。また、３月27日以降、戸籍を確認する場合の提出書類が戸籍謄本に統一されるため、戸籍抄本では受け付けることができなくなります。

外務省　パスポート　検索

問　総務課総務担当　☎　56‐2121

お悔やみ申し上げます

字上トマム　菅原（すがわら）　明美（あけみ）さん（63歳）
令和５年２月７日ご逝去

中皮腫や肺がんなど 石綿による疾病の補償・救済について

中皮腫や肺がんなどを発症し、それが労働者として石綿ばく露作業に充実していたことが原因であると認められた場合には、労働者災害補償保険法に基づく各種保険給付や石綿による健康被害の救済に関する法律に基づく特別遺族給付金が支給されます。

石綿による疾病は、石綿を吸ってから非常に長い年月を経て発症することが大きな特徴です。

中皮腫などでお亡くなりになられた方が過去に石綿業務に従事されていた場合には、労災保険給付等の支給対象となる可能性がありますので、最寄りの労働基準監督署または北海道労働局にご相談ください。

問　北海道労働局 労働基準部 労災補償課
☎　011‐709‐2311（内線3590）

確定申告についてのお知らせ

「令和４年分の所得税および贈与税の確定申告書」の提出期限は**３月15日（水）**、「消費税（個人事業者）の確定申告書」の提出期限は**３月31日（金）**です。

期限間際になりますと、確定申告会場は混雑します。新型コロナウイルス感染防止の観点から、多くの方が訪れる確定申告会場ではなく、ぜひ、ご自宅での申告書の作成・提出をお願いします。

国税庁ホームページでは、スマートフォンやパソコンなどから、所得税・消費税・贈与税の申告書を作成し、e-Tax（電子申告）等で提出することができます。

問　富良野税務署　☎　22‐2144

ほっかいどう親子のための相談LINEの開始について

道では、子育ての不安や親子関係の悩みなど、家族や家庭について悩んだときに、子どもやその保護者などが気軽に相談できるよう、LINEを活用した相談窓口を開設しました。

匿名で相談ができ、相談料は無料です。悩んでいるとき、困っているとき、誰かに話を聞いてほしいとき、一人で悩まず、お気軽にご相談ください。専門の相談員が対応します。

対象者　道内（札幌市を除く）に居住する子ども・保護者等
受付時間　午前９時～午後５時（土日祝を除く）
相談方法　右記QRコードから「友だち追加」してご相談ください。

問　北海道保健福祉部子ども子育て支援課
☎　011‐204‐5237

生活・仕事相談会を開催します

日　時　令和５年３月22日（水）
①10時00分～10時50分
②11時00分～11時50分
場　所　占冠村役場
対象者　生活・仕事についてお悩みの方
申　込　３月20日（月）の午後３時までに電話、FAX、メールで予約してください。
相談料　無料

問　自立相談支援事業所「かみかわ生活あんしんセンター」
☎　0166‐38‐8800　FAX　0166‐33‐0021
メール　anshin@kamikawa19.hokkaido.jp

お子さまが安心安全にスマートフォンを利用するために

満18歳未満のお子さまにスマートフォン等、インターネット接続機器を利用させる場合、保護者の方は次の点に十分注意願います。

適切にインターネットを利用する

SNSを利用して子どもたちを言葉巧みに誘い出し、事件やトラブルに巻き込まれる深刻な事案が発生しています。インターネットに関する知識、情報モラルやコミュニケーション能力を親子で身に付け、正しく利用することが重要です。

家庭のルールを作る

長時間利用によるネットの依存症も増加しています。適切な生活習慣が身に付けられるように、お子さまと一緒に話し合いそれぞれのご家庭のルールを作りましょう。「利用時間は夜９時まで」など、ルールは具体的に決めることがポイントです。

フィルタリングなどを設定する

「フィルタリング」は知識が十分でないお子さまが不用意に違法・有害サイトにアクセスしないよう制限する機能です。子どもたちが事件・事故に巻き込まれないようにスマートフォン等には必ず「フィルタリング」を設定してください。

実際に起きたトラブル事例を基に、予防法と対策法をまとめた「インターネットトラブル事例集（2022年度版）」をホームページに掲載しています。

総務省インターネットトラブル事例集　検索

問　総務省 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課
☎　011‐709‐2311（内線4704）

村営住宅等入居者募集のご案内

募集団地	受付期限３月15日（水）

●中央地区　10戸

○中央団地	１ＬＤＫ	**３戸**
	２ＬＤＫ	**４戸**
○千歳団地	３ＬＤＫ	**１戸**
○第２千歳団地※	４ＬＤＫ	**２戸**

※第２千歳団地は所得基準が異なります。
詳しくは建設課建築担当へお問い合わせください。

■入居資格
次の条件を満たす方が申し込むことができます。
●占冠村にお住まいの方、村外から移住される方
●月収が15万8000円以下の方
（例えば、給与収入者で扶養家族がある場合、源泉徴収票の給与所得控除後の金額から同居扶養控除等の金額を引き、残りの額を12ヶ月で割った金額が15万8000円以下の方）
※敷金の納入が必要です。
※連帯保証人が２人必要です。
★入居者と同等以上の収入のある方

■家賃　入居される世帯の収入等に応じて決定されます。
■入居可能日　概ね４月３日（月）
■入居決定　入居者選考委員会の審査によります。
■申込受付場所　建設課建築担当
トマム支所
■お問い合わせ　建設課建築担当　☎　56‐2172

運転免許更新時講習会

会場：富良野地域人材開発センター
富良野市西麻町1番1号

■優良講習（30分）
◎３月３日（金）　13時～
◎３月13日（月）　13時～
■一般講習（１時間）
◎３月３日（金）　14時～
◎３月13日（月）　14時～
■初回講習（２時間）
◎３月10日（金）　13時～
■違反講習（２時間）
◎３月17日（金）　13時～

※警察署等で更新手続きを終えていなければ、更新時講習は受講できません。

問　富良野警察署　☎　22‐0110

占冠村の放射線量の状況（２月分）

測定日　令和５年２月７日（火）

【単位：マイクロシーベルト毎時】

測定場所	測定時間	天候	測定値
中央小学校グランド	13時51分	曇り	0.026
双民館グランド	13時25分	曇り	0.028
占冠地域交流館グランド	13時41分	曇り	0.036
占冠保育所グランド	13時57分	曇り	0.027
トマム学校グランド	15時08分	晴	0.019
トマム保育所グランド	15時01分	晴	0.020

※北海道の空間放射線量率モニタリング結果（上川総合振興局 0.021～0.098）と比較して平常レベルと判断されます。
「北海道の空間放射線量率モニタリング結果」は、下記のホームページで公開されています。
『環境放射線測定結果【北海道立衛生研究所】』
http://www.iph.pref.hokkaido.jp

問　総務課総務担当　☎　56‐2121

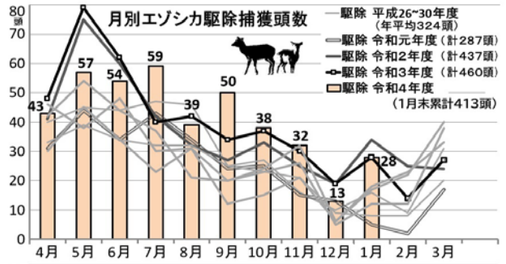
野生動物対策の状況

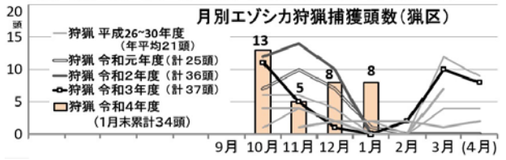
問 農林課林業振興室 野生鳥獣専門員
☎ 56－2174

エゾシカ

厳しい寒さの中にも春の気配が感じられるようになりました。毎年のことながら、シカたちにとって最も体力の苦しい時期の到来です。村内過去年のデータで体重減少の底は３～４月でした。０歳子では晩秋には40kgを超えていたのに、今の時期は20kg台が普通で、衰弱死する個体も多いようです。

子ジカを見ていると、削痩もさることながら、外形寸法に個体差が目立ちます。採食環境だけでなく出産時期にも差があるかもしれません。シカ増殖の程度に絡む課題でもあり、調べてみたいものです。





１月の駆除捕獲は前年並みで、２月も堅調に実施中です。

双珠別では乾草ロールの食害があり、特に警戒と捕獲に努めています。道路脇にもシカが集まるようになりました。衝突にはご注意ください。

破れた乾草ロールとシカ（双珠別１月30日）

ヒグマ

そろそろヒグマの活動が始まります。春山に入る方は、ヒグマの足跡やシカ死骸にも注意して、近距離で出合わぬよう心掛けましょう。今年も人身無事故と対応体制の充実に努めていきます。情報のご提供をはじめ、皆さまのご協力をお願いいたします。

先月のヒグマミーティングへは大勢のご参加、誠にありがとうございました。またいろいろな催しを企画していきます。ご要望もお寄せください。

◆猟区の入猟対応について◆

当期のガイド付きシカ猟は１月末までに17回、合計37日間実施しました。４月15日まで実施予定です。

占冠村猟区内では、捕獲を村のガイド付きの狩猟か、村の定める従事者による駆除に限ることで、安全安心と適正な利活用に努めております。密猟が疑われるなど不審な状況にお気付きの際は、警察か村担当までお知らせください。

こちら駐在所です

問 占冠駐在所
☎ 56－2110

進学・進級時における少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化
～さしのべる　手のぬくもりを　どの子にも～

お酒やたばこは20歳になってから！

20歳未満の飲酒や喫煙は、心身への悪影響が大きいので禁止されています。お酒やたばこは非行の入り口とも言われているため、勧められてもきっぱり断りましょう。

万引きは犯罪！

万引きをするほか、万引きの見張りや命令も犯罪になります。盗んだ物を買うことや、もらうことも犯罪になります。

大麻は脳に影響を与える違法な薬物です！

「身体に害がない」などの間違った情報に流されず、正しい知識を持ちましょう。大麻の使用を誘われても、最初にきっぱり断ることが大切です。断りづらいときは、その場から離れましょう。

特殊詐欺に加担しない！

「受け子」「出し子」は犯罪です。また、SNSで募集されている高額バイトは危険です。現金や書類を受け取ったり、ATMから現金を引き出したりするバイトは、特殊詐欺の可能性があります。

火災・救急・救助 119
消防瓦版 纏（まとい） No.413
問 富良野広域連合富良野消防署占冠支署
☎ 56－2119

ペットが原因でこんろ火災！？

昨年、愛知県と兵庫県で発生した２件のこんろ火災をご紹介します。どちらも昨年の７月下旬に発生した火災ですが、地元消防等はペットの犬猫が台所のガスこんろを着火したことが原因とみて調査しています。いずれの火災も押すタイプの点火スイッチで、前脚で押したり、もたれかかるなどした際にスイッチを点火した可能性があります。

愛知県の事例では、ペットサロン併設の事務所の台所付近から出火。台所へは大型犬７頭が出入り可能な状態であったとのこと。対策として、台所に柵を設置し、回転式スイッチのこんろに交換したようです。

兵庫県の事例では、家主が不在中に飼い猫２匹が火災により死亡。餌を食べようとした猫が点火ボタンを押したとして調査されています。

製品評価技術基盤機構（NITE）の調査では、2014年以降、北海道や静岡県、福岡県など13都道県でペットが原因とみられるこんろ火災が計18件発生しているそうです。

ペットの室内飼いが増えたり、スイッチをひねる回転式ではなく、火力調整がより簡単なプッシュ式が普及したことが背景にあるのではと考えられます。ガスこんろがスイッチを回すタイプではなく、押すタイプであり、室内で猫や犬等を飼われているご家庭があれば、未使用時は元栓を閉めたり、ロック機能を使うなどして対策を講じ、火災発生を未然に防ぐようにしましょう。

救急出場状況（１月分）

交通事故	１件（０人）
一般負傷	15件（15人）
急　病	10件（10人）
１月計	26件（25人）
累　計	26件（25人）

※（ ）内は搬送人員

地域とともに

コミュニティ・スクール情報
～占冠中学校～
問 教育委員会学校教育担当 ☎ 56－2182

つながり

今月末をもって令和４年度が終わりを迎えます。少しずつですがコロナ以前の生活へという動きも見られる中、「子どもたちの学びの保障」を踏まえ、日々の教育活動に取り組んでいます。

11月４日、「占冠村CS議会」を行いました。今年度は、「村のごみ問題について考える」をテーマに10月から準備を進め、トマム学校の生徒とともにグループに分かれ、改善案について議会で提案していました。地元の未来について考える大切な機会となりました。

11月11日には清流大学生とともに「清流大学ふれあい授業」を行うことができました。生徒たちは大学生の皆さんと英語（１年）・国語（２年）・書写（３年）の授業に参加しました。世代を超えた触れ合い活動を通して、普段の授業とは違う学びを深めることができました。

また、令和元年度以来久しぶりとなりましたが、アスペン中学生短期交換留学事業が復活しました。１月４日から15日にかけて生徒をアスペン市へ派遣し、村教育委員会の協力や引率した職員、保護者の皆さまの支えのおかげで、全員無事に帰国することができました。１月25日に開かれた報告会では、食文化や交通事情など、各自で設定したテーマを元に発表しました。異国の文化について肌で感じることができ、大変貴重な経験を積むことができたようです。

次の令和５年度、小中一貫校として、また占冠学園として、中央小やトマム学校と３校で連携を強めながら、生徒にとってより充実した教育活動を進めていきたいと考えています。

ゼロカーボン占冠アクション

小まめにスイッチＯＦＦで 省エネ・節電！

占冠村の風景

けんこうマージャン
健康麻将 ～和やかに楽しむ～

１月28日（土）、豊かな老後を楽しむ会（鷲尾心英代表）主催の第14回健康麻将大会が村内で開催されました。男女16人が熱戦を繰り広げ、この日72歳の誕生日を迎えた松浦博さんが前回の大会に引き続き２連覇を果たしました。

健康麻将は「お金を賭けない、アルコールを飲まない、タバコを吸わない」をスローガンに掲げる（一社）日本健康麻将協会のルールで行われます。

楽しむ会は2011年に同協会から講師を招き、立ち上げ、原則毎月第１、第３、第５土曜日の午後２時から９時まで総合センターで例会を開いています。

申し込みは不要で、会費は無料です。マージャンは頭脳と身体の健康バランスの維持にも効果的とのこと。ご興味のある方、のぞいてみませんか？お問い合わせは鷲尾さん（☎ 56－2315）まで。

物産館パネル展示実施中

占冠村１２０年、アスペン市姉妹都市提携30周年を記念し、これまでの占冠村のあゆみ、アスペン市との交流を記録した年表パネルを作成しました。２月１日（水）より占冠村物産館にて展示していますので、ぜひこの機会にご鑑賞ください。

展示会場：占冠村物産館　１階
会館時間：午前９時～午後５時
※日曜日は休館です。

編集後記

今月号では、３年ぶりに再開できたアスペン中学生短期交換留学事業（派遣）について掲載しました。現地を訪問した皆さんの感想を見ますと、日本とは異なる文化や歴史などに触れ、それぞれ貴重な経験をされたご様子。そして何よりも、ホストファミリーと過ごした日々はかけがえのない思い出になったようですね。私もアスペンに行ってみたくなりましたが、まず英語を何とかしないと…。手っ取り早く語学力が身に付く方法があればなぁ。（大谷）

広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。

広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか担当までご連絡ください。広報紙に関する情報・意見・要望もお待ちしております。

■人口・世帯数（１月末住民基本台帳登録数）

人口	男	女	世帯数
1,425人（+31）	721人（+18）	704人（+13）	969（+31）

《うち外国人の人数　352人》

中央	占冠	双珠別	トマム	出生	死亡	転入	転出
666人	80人	41人	638人	0人	0人	52人	21人

自然体感占冠 Shimukappu/Hokkaido

広報しむかっぷは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO_2削減事業ならびに東北経済復興を応援しています。

発行／占冠村　編集／企画商工課　印刷／㈱総北海
〒079-2201　北海道勇払郡占冠村字中央　☎ 0167-56-2124　FAX 0167-56-2184
占冠村ではホームページを開設しています。アドレス**https://www.vill.shimukappu.lg.jp**